（＊1）　負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（注1）　金融商品の時価の算定方法

⑴　現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　有価証券

時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。

⑶　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑷　長期未払金及び未払金（ＰＦＩ）

長期未払金及び未払金（ＰＦＩ）はＰＦＩによるものであり、時価の算定については一定の期間ごとに区分した当該ＰＦＩ債務の元利金の合計額を、リスクフリーレートに近い財政投融資資金の借入れに係る利率で割り引いて現在価値を算定しています。

Ⅵ　賃貸等不動産関係

当法人は、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

Ⅶ　資産除去債務関係

国立民族学博物館第８展示棟一部建物基礎部分には石綿関連法令により使用等が規制されている石綿が使用されています。

当該石綿は全て封じ込み済みであり、第８展示棟は今後も現状のまま継続して使用する予定でありますが、建物解体時には法令による石綿の除去義務がありますので、資産除去債務を有しております。

現時点では、建物解体計画はなく、また、解体計画を策定する場合には予算措置を始め主務官庁等の総合的な判断が必要となるため解体に関する意思決定は法人単独ではなし得ず資産除去債務を合理的に見積ることが出来ません。このため、貸借対照表に資産除去債務を計上しておりません。

Ⅷ　重要な債務負担行為

当事業年度に契約を締結し、翌年度以降に支払が発生する重要なものは以下のとおりです。

契　約　件　名	契　約　金　額	翌期以降支払金額
国立歴史民俗博物館総合展示新構築第４展示室展示工事	399,000千円	159,600千円

Ⅸ　固定資産の減損に係る注記事項

減損を認識した固定資産

用途	電話加入権
種類	電話加入権
場所	千葉県佐倉市
帳簿価額	130千円
減損の認識に至った経緯	将来の使用見込みが客観的に存在しない
減損額のうち損益計算書に計上した金額	—
減損額のうち損益計算書に計上していない金額	104千円
回収可能サービス価額	正味売却価額
算定方法の概要	相続税評価額による

Ⅹ　重要な後発事象

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	26,955,199	427,534	—	27,382,734	7,803,732	950,725	—	—	—	19,579,001	
	構築物	1,243,284	17,353	79	1,260,558	509,350	59,410	—	—	—	751,208	
	工具器具備品	580,008	—	180	579,827	201,658	94,760	—	—	—	378,168	
	図書	316,372	—	—	316,372	—	—	—	—	—	316,372	
	計	29,094,865	444,887	259	29,539,493	8,514,742	1,104,896	—	—	—	21,024,751	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	1,557,246	133,002	1,255	1,688,993	409,885	94,493	—	—	—	1,279,107	
	構築物	39,708	1,909	—	41,618	6,557	2,300	—	—	—	35,060	
	工具器具備品	3,856,662	433,570	417,498	3,872,734	2,232,877	485,924	—	—	—	1,639,857	
	図書	15,075,454	534,985	26,754	15,583,685	—	—	—	—	—	15,583,685	